



校報

水糸者

No. 1254

元年度・第113号

11月16日は種市小学校の誕生日

町の木々もすっかり色づいた11月は、種市小学校が『誕生した月』でもあります。創立143年目を記念して、本校を歴史・足跡、思い出などを記していきます。

学校沿革史と種市小学校創立100周年記念誌「江浜百載」に、

- 〔創立年月日〕 明治10年(1877年)11月16日
- 〔校名〕 公立荒津内小学校
- 〔学校位置〕 第七大学区岩手県管下第十七番中学区内九戸郡種市村字荒津内
- 〔児童数〕 男子…41名、女子…1名 計42名
- 〔校舎〕 民家借用(横手、小松伊三郎宅)
- 〔学区〕 小橋、横手、板橋、荒津内、小路合、鹿糠、大久保、一郷の八部落と、記されています。



西郷隆盛が西南の役で亡くなったのが明治10年、板垣退助の自由党、大隈重信の立憲改進黨の成立が明治14年、「種市村」が誕生したのが明治22年、八戸線が種市まで開通したのが大正13年ですので、本校の歴史の長さを感じます。

なお、種市小学校の卒業生の数は昨年度までで6460名となっており、町内では最多の卒業生が巣立っている学校となっています。



*校章・校旗について



新校旗樹立 昭和四十年七月十四日



協和



発展



校章制定 昭和四十年五月十五日

・解説
この校章のもつ意義については、松と海とかもめによって、地域的な環境をあらわし、松を中心から放射した状態は本校の発展と、小の印をかもめによってかこんだ円状は協和を具現したものである。

・図案者……岩泉 正雄

・発展と協和……理想

・松、海、かもめ……環境

- *校章審議委員 … 土佐行作教頭先生、三船吉蔵先生、相模賢治先生、佐藤重光先生、岩泉正雄先生
- *決定者 … 校長：嵯峨勇三郎先生〔昭和40年3月20日〕
- *制定者 … 校長：中村 健三先生〔昭和40年5月15日〕

種市小学校・校舎今昔①

〔初代校舎；荒津内校舎〕


明治10年11月16日～明治36年12月23日



年 度	学校の主なできごと	世の中の主なできごと
明治10年 11月16日	公立荒津内小学校と称し、字横手小松伊三郎氏宅を借りて開校 (学級数1、教員数1、児童数42)	・西南の役 (明治10年) ・種市村誕生 (明治22年) ・大日本帝国憲法制定 (明治22年)
明治20年 4月10日	小学校令改正により荒津内簡易小学校と改称	・日清戦争 (明治27年) ・三陸大津波襲来 (明治29年)
明治34年 4月1日	初代校長・兼田清一郎氏 就任	・名古屋丸、平内に座礁 (明治30年)

〔2代目校舎；前田平校舎〕

明治36年12月24日～明治44年11月11日

年 度	学校の主なできごと	世の中の主なできごと
明治36年 12月24日	横手区字前田平 (種市町23地割27番地) に校舎移転 (5間×13間、教員数・教室2、たまり1)	
明治37年 3月1日	県告示第13号をもって、種市尋常小学校と改称	

校報「水緒」では、2代目校舎「前田平校舎」と3代目校舎「つかえ棒校舎」と、区別していますが、2代目校舎を増改築した校舎が、3代目校舎「つかえ棒校舎」と思われます。3代目校舎「つかえ棒校舎」から現在の校舎までの紹介は、次号以降で行います。

訂正

上方昨日発行の校報1253号で紹介した「ようこそ、先輩」の中で、野口裕一郎さんの講演時間を9時から10時と紹介しましたが、講演開始時間は「未定・調整中」ですので、訂正・お詫びいたします。

正式に決まりましたら、速やかにお知らせいたします。

〔情報提供、ありがとうございました〕

先日、八戸市内で発生した「中学生による小学女児切りつけ事件」では、本校保護者からの情報提供があり、本校では直ちに緊急メール送信ができました。

子どもの安全に関わる情報の提供をいただいた事を感謝いたします。